

「金剛山（1125m）ハイキング」Aコースの記録

- * 日 時 平成30年5月3日(木) 晴れ時々曇り
- * 集合地 Aコース 南海河内長野駅前及びロープウェイ前バス停の2ヵ所
- * 参加者 Aコース 11名。(大石・叶・上條・小松・西井・元田・山下・倭・吉本・森・万井)
Bコースは当初5名の方が参加を予定されていましたが 強風のためロープウェイが
全日運休となり 登頂かなわず 急遽中止になりました。

9:35 ロープウェイ前バス停周辺では 金剛山山頂を目指す多くのハイカー達が集まっていました。森海のメンバーのAコース11名は 各々準備体操などで身体をほぐしてから出発しました。車道から寺谷コースと表示された山道に入り、かなり傾斜のキツイさ坂道は続き 木組みの階段と碎石を無造作に並べたような石ゴロゴロの道が交互に続きました。時折りとても冷たい風が吹き過ぎましたが 千早の栃ノ木の老木を過ぎたころには 身体も温かくなり さらに背中などに汗も吹き出るようになりました。最初の水分補給の休憩場所では ヤマブキソウ(茎が30~40cmの山吹色の花)が咲いていました。少し進んだ所に 油で炒めて食すると大変美味しい野草だと話に出ていたミズブキが見られました。



ロープウェイ前バス停・集合



千早のとちの木



ヤマブキソウ

犬を連れた女性の二人連れや幼児や小学生を連れた家族連れなども見かけました。幼児の手を引いて山を登るお父さんに「お子さんおいくつですか？」聞いたところ「4歳！」との返事でした。(がんばって!)
2度目の休憩タイムで 大石さんが川べりに下りて水質検査用の水を汲んでいました。春の金剛山を代表すると言われる 可憐な白い花の二輪草が 登山道沿いにたくさん咲いてるのが見られました。様々な鳥の声も各所で聞こえてきます。「ホトトギスだ」「あれはホオジロ！それに賑やかに鳴いているのはミソサザイだ。鳥も恋の季節だ！」と近くを歩いている方が声が聞こえてきましたが 残念な事に鳴声だけで 鳥の姿は殆ど見る事が出来ません。
文寿堂との分岐点表示を過ぎて 間もなく御廟所に到着。続いて金剛山転法輪寺境内です。こちらでは今まさに満開の八重桜が、また白と薄いピンクで綺麗なシャクナゲが丁度見ごろでした。境内のひさご池沿いには 葉の形が金魚の尾に似ているキンギョツバキが見られました。

ここに来て初めて Bコース方々がロープウェイの運休のため 急に金剛山登頂を中止せざるを得なくなった事を知りました。大変残念な事になりました！！ こちらも皆さんと合流出来ず残念でした。

11時直前に金剛山国見城址（山頂）に到着です。そこではかなりの人数の登山者が固定設置のライブカメラに向かってバンザイやピースをして並んでいました。その中に 我々森海メンバーも全員(?) 潜り込み 11時の撮影に間に合いました。山頂広場では100回登頂記念行事などが行われていました。少し霧がかかって前方が白くなってきた頃 昼食場所へ向かって 山頂広場を出発。



休憩（水分補給）



キンギョツバキの葉



二輪草

夫婦杉の巨木を見て 仁王杉前を過ぎた辺りに きれいな緑の葉のミヤコアオイ（都葵）が一面に生えていました。葉の下には開花し始めた下向き小さな蕾が付いています。



金剛山転法輪寺



ミヤコアオイ



ちはや園地の休憩場所

11:45 ちはや園地の休憩所前のベンチで昼食です。昼食後 園地内の「ちはや星と自然のミュージアム」を見学（入場無料）しました。金剛山の草花や野鳥の写真や小動物の剥製などの展示、また木と鳥の声がテーマの自然サイエンスゾーン等もあり、スタッフの方が「バーミキュライト」という鉱物をバーナーで加熱して10倍にも膨らむ膨張実験を披露して下さるなど 見学者を楽しませて下さいました。

12:30 下山開始です。「ダイトレ（ダイヤモンドトレール）伏見峠から紀見峠方面」と書かれた標示板の前から山道に入り、木の根が階段代わりになった急傾斜の下だりです。コシアブラ・ユキザサなどの間を通り、お地蔵さんの前を過ぎた所にも ミヤコアオイの群生です。久留野峠を経て長い直線の坂道を下りたところで最後の休憩です。この辺りはフタバアオイ（双葉葵）の群生地です。この葉は徳川家の紋・葵の御紋や京都賀茂神社の神紋に用いられています。山道から車道に出て 14:05 ロープウェイ前バス停へ。

14:15 のバスに乗り 14:50 河内長野駅到着。駅前で解散となりました。

- * 案内役 山下幸子さん と 森憲子さん
- * 記録係 万井静吾